

# 平成20年度 学校経営計画

## 1 学校教育目標

### (1) 教育目標

より高きを求めてやまない「尚美」の伝統に根ざし、平和で豊かな民主国家の建設をになう、自主自律の気風に富んだ剛健で実践的な工業人の育成を期する。

### (2) 教育方針

ア. 基礎学力の充実と技術の錬磨  
イ. 健康な心身と節度ある態度の育成  
ウ. 公正な判断力と社会性の育成

エ. 勤労意欲と責任感の涵養  
オ. 個性の伸長と創造性の育成

## 2 学校の特徴

本校は、110余年の歴史と伝統を誇る工業系4科、芸術系2科を持つ工業系専門高校として、より高きを求めてやまぬ「尚美」の精神のもと、ものづくり・作品づくりを通して生徒の人格陶冶と自己実現を旨とする教育活動を実践している。一人ひとりの生徒が、学習活動の中で普通教育と専門教育の調和と深化を図り、知性の錬磨と、さらに部活動をはじめとする特別活動を通しての人間性と精神力や体力の向上を目指し、人を思いやる心をもった健康な体と生きる力を養うよう指導し、支援している。また、小中学生を対象とした「ものづくり体験教室」や「青井中学生美術展」等のものづくりの交流を通して、県立学校教育振興計画を踏まえた、新しい総合的な工業科高校として、「ものづくりの中核校」「地域のものづくりの拠点」となるよう魅力ある学校づくりを目指している。

## 3 学校の現状と課題

人間力豊かなものづくりのスペシャリストである工業人の育成を目指す本校の教育活動は、学力向上のための学習活動、高校生として「けじめ」ある行動・態度がとれる生徒指導、望ましい職業観を身につける進路指導、生徒会活動や部活動等の特別活動指導がお互いに連動し合って相乗効果を発揮させたい。

### [ 現状 ]

- ・地域の小中学生を対象としたものづくり体験教室を開催し、地域に開かれた学校づくりを目指している。
- ・各学科では、1年次から学科の特性を生かして専門性の深化を図り、2年次からのコース制や専門技術者等による授業等を積極的に実施し、魅力ある工業教育の展開を目指している。
- ・「朝のあいさつ運動」等を通して、怠惰による遅刻数が減少した。また、多くの生徒が積極的に挨拶を交わすようになってきている。
- ・約8割の生徒が部に所属しており、部の活躍や勢いが学校の活性化に大きく貢献している。また、学校行事に対しても多くの生徒が積極的に取り組んでいる。
- ・早期からの望ましい勤労観や職業観を身につけるため、2年生全員によるインターンシップの充実を図っている。

### [ 課題 ]

- ・県立学校教育振興計画を踏まえた、新しい総合的な工業科高校として、「ものづくりの中核校」となるよう、地域産業界や大学、研究機関等との連携を深めた学習活動を実践し、将来のものづくりのスペシャリストとなる工業人の育成を目指す。
- ・地域の小中学生とのものづくりの交流を通して、地域のものづくり教育の拠点となるよう魅力ある学校づくりを目指す。
- ・互見授業や生徒による授業評価の実施により授業の改善に努め、学習意欲を引き出す指導方法や評価、学力向上のための学習時間確保の対策等を検討する。
- ・学校と家庭の情報の共有を図り、生徒としての節度ある行動・態度がとれる指導を通して、人格形成を目指した生徒指導を推進する。
- ・整理、整頓等を含めた、ものづくりの基礎・基本の学習と、2年生全員によるインターンシップの実施により、早期からの望ましい勤労観・職業観を育成するとともに、多様な生徒の進路希望が実現できる進路指導を推進する。
- ・特別活動の内容の一層の充実を図り、PTAの協力を得て、より満足度を高める指導を推進する。
- ・教育活動における内部の点検評価を生かすと同時に学校評議員制度の活用や、「学校評価システム」を充実し、家庭や地域の方々に学校への理解を深めていただくよう、開かれた学校づくりを目指す。

#### 4 学校教育計画

項 目		目標・方針及び計画	
(1)	学習活動 <b>重点1①②</b>	目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習意欲の向上と専門知識の習得に励み、工業人としての基礎を確立するとともに、自ら学ぶ意欲の向上を目指す。</li> <li>・検定や資格取得の充実及び各種コンテスト・コンクール等への挑戦。</li> <li>・普通教科、(数学、国語)と各専門学科との連携により、家庭学習の習慣化を推進する。</li> </ul>
		計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年1回以上の互見授業や生徒による授業評価を各学期に1度実施し、<b>生徒の学習意欲の向上と授業の改善</b>に努める。</li> <li>・本校独自の基礎計算力テストの結果を受けて、各科指定の教科での補完や補習、家庭学習等で補強を行い、基礎計算力の向上を図る。</li> <li>・日常的な家庭学習の習慣化を推進するため、より効果的な学習課題を検討し、家庭での学習時間の確保を図る。</li> <li>・基礎的な検定・資格の補習指導を徹底し資格取得を促進し、学習意欲の向上を図る。また、ジュニアマイスター取得を目指し、難易度の高い国家試験に挑戦することを理解させる。</li> </ul>
(2)	学校生活 <b>重点2</b>  <b>重点3</b>	目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝のあいさつ運動、日常の生活指導を通して「けじめ」ある行動・態度と清潔で高校生らしい服装やマナーを身に付ける。</li> <li>・意欲的かつ積極的な学校生活を送るための基本的な生活習慣を確立し、<b>生活の乱れによる遅刻・欠席・早退をしない、規則正しい生活</b>ができる。</li> <li>・「保健だより」の年2回以上の発行により、健康に関する意識の向上を図る。</li> <li>・臨床心理士による職員の校内研修を実施し、学校不適應の生徒への<b>メンタルヘルスケアの充実</b>を図る。</li> </ul>
		計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任や学科、部顧問との連携を密にした面接指導を充実し、遅刻者の減少を図る。</li> <li>・全教職員の共通理解のもと、授業開始時や休み時間、放課後の部活動等、折に触れての継続的な服装指導により、再指導者の減少を図る。</li> <li>・全職員による朝のあいさつ運動や各種の保健活動の実施により、健康に関する意識の向上を図り、朝寝坊や怠惰等、生活の乱れによる遅刻を減少させる。</li> <li>・定期健康診断等の結果や生徒保健委員会の活動を通して、健康に関する情報を発信し、健康保持のための自己管理を促す。</li> </ul>
(3)	進路支援  <b>重点4</b>	目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒自らが、その勤労観・職業観に基づいて、主体的な進路選択ができる能力を育てる。</li> <li>・<b>進路選択を通じて、主体的な自己実現</b>を図る。</li> <li>・インターンシップの充実、推進を図り、生徒一人一人のキャリアアップを実現し、進路選択時のミスマッチを低減する。</li> </ul>
		計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「先輩と語る会」「保護者による進路講話」「外部講師による講話」等を定期的実施する。</li> <li>・工学系進学者を対象とした「基礎学力講座」等の特別指導を実施する。また、芸術系進学者の学力補充に対しては「絵画実技講座」等と併行した学習指導を早期から実施できるシステムの構築を推進する。</li> <li>・2年生全員によるインターンシップの充実を図り、早期からの望ましい勤労観や職業観を身に付けさせる。</li> </ul>

(4)	特別活動	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">重点5①②</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動加入率85%以上を堅持し、学習との両立を図る。</li> <li>・各学校行事終了後、評価の調査を行い、満足度80%以上を目指す。</li> <li>・部活動参加者の充実感を調査し、満足度80%以上を目指す。</li> <li>・図書館利用や読書を推奨する活動を充実させ、生徒に利用のマナーを培うとともに、読書への関心・意欲を高め、主体的な読書習慣の定着を図る。</li> </ul>
		<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">重点6</div>	<p><b>・定着化する学校行事や活発な部活動について、生徒へのアンケートを実施し、その満足度や充実感を調査し、分析</b>を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に各部長を集め、活動内容の把握や安全確認、活動の激励助言に努める。</li> <li>・部顧問間の連携や家庭との連携を支援し、協力をする。</li> <li>・生徒会便りに大会日程やその成果を掲揚し、学校全体の雰囲気や生徒の気力を高める。</li> <li>・生徒会を中心として事前アンケートを実施して、生徒の意見の把握に努める。</li> <li>・各部署や部活動との教職員協力体制を見直し、連携を強化して行事内容や実施の充実化に努める。</li> <li>・読書に対する広報活動を拡充し、<b>図書館利用の充実と読書率（図書貸出し数）の向上</b>を図る。</li> <li>・各学期末に全校一斉の朝読書週間（年2回）を企画し、全生徒が本に親しむ機会を設定する。</li> <li>・読書に関心を持たせる機会として読書会、輪読会（年2回）を実施し、その参加者を増やすとともに、図書館利用に対する意識を高める。</li> <li>・国語科との連携を図り、図書館を活用した授業の展開や読書を促す指導を推進する。</li> <li>・図書館だよりを発刊し（年9回）、推薦図書、新着図書の紹介等、読書に関する広報活動の充実を図る。</li> </ul>
(5)	その他	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">重点7</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭と学校が連携を強め、共通理解のもとに活発なPTA活動を目指す。</li> <li>・開かれた学校づくりに努め、地域との連携・交流を推進し、地域の方々より学校運営等について意見を聞く。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事等に合わせたPTA行事を計画し、保護者の参加率の向上を図る。</li> <li>・<b>PTA役員会の出席率を高め、役員としての意識の向上</b>につなげる。</li> <li>・参加しやすい役員会の持ち方や、役員相互のつながりを強化する取り組みを検討し、役員の関わり度を増加させる。</li> <li>・年度末に活動を振り返ってのアンケートを実施し、満足度を調査する。</li> <li>・PTA、同窓会、学校評議員、地域諸団体等に学校ホームページなども活用して、本校の教育活動を広く紹介するとともに、地域との連携を深める。</li> </ul>